



水芭蕉満開に。

五泉市立川東中学校学校だより
令和5年5月15日発行 第2号
毎月1回発行（文責 校長）

その花言葉「美しい思い出」の如く充実した学校生活を願って、「水芭蕉満開に」としました。

川東地区に強力な応援団

4月10日（月）、オレンジのジャンパーをまとった地域の方々が川東小学校と中学校の玄関先に並び、登校する小中学生にあいさつをしている姿がありました。川東地区青少年育成協議会の皆さんです。

川東中生のあいさつはよいと褒めていただくことがありますが、その一因と考えています。川東地区には実に強力な応援団がたくさんいます。ざっと紹介します。



【川東地区育成協の皆さん】

川東地区青少年健全育成協議会

「地域の宝である子供たちが、夢や希望を持ち続けられるよう、サポートする」
（育成協だよりNo.68巻頭言より）
上記で紹介した小中学校玄関前で行われる「あいさつ運動」は年3回行われる予定です。12月にはうどん作りも行われます。

民生委員児童委員

「それぞれの地域において、常に住民の立場に立って相談に応じ、必要な援助を行い、社会福祉の増進に努める方々であり、児童委員を兼ねる。」（厚生労働省HPより）
とても頼もしい存在ですね。7月には懇談会と授業参観を予定しています。

川P
東T
中A

・「川東中学校教育の振興と会員相互の教養を高めることを目的」とし、「次の会員をもって構成する。正会員（生徒の保護者・職員）、賛助会員（趣旨に賛同する者）」
・会員は、100名以上います。

川後
東援
中会

・「教育活動の推進を図ることを目的」とし、「趣旨に賛同する者をもって組織する」
・ご寄付いただいた金額から700世帯を超えるご家庭からご賛同いただいていることがわかります。

川同
東窓
中会

・「卒業生及び職員をもって組織」し、「会員相互の連絡親睦を図ると共に、母校の発展向上に協力することを目的」とする。
・卒業生は現時点で7643人ですので、これが同窓会の会員数となります。



合計すれば、かなりの数になることがわかります。川東地区は本当に応援団の方々に恵まれています。卒業3年後に成人となる中学生は、未来の働き手としてばかりでなく、文化の担い手としても注目されていることでしょう。

地域に感謝を示したい

—感謝を示す2行事終了—

お世話になっている地域の皆さんに感謝の気持ちを示す機会がありました。紹介します。

4.19地域清掃ボランティア（全校生徒）

全校生徒が縦割りで7班に分かれ、学校周辺のゴミ拾いを行いました。（写真上、中）生徒の感想から、その充実感が伺えます。「昨年よりゴミは減り、年々きれいになっていると実感。」（3年）「感謝を伝えるために、ゴミ拾いを頑張りました。」（2年）「これからもきれいな川東地域を保ちましょう。」（1年）



4.24川東恵愛祭に向けた芋植え（中3と小6）

川東中学校6年生と中学校3年生が協働し、川東恵愛祭で活用する里芋の芋植えを行いました。（写真下）感想を紹介します。「小学生とたくさん話し、協力できて楽しい時間になりました。」「恵愛祭では、感謝の気持ちを里芋に乗せて届けたい。」「地域の特産品である里芋を食べれることに感謝したい。」

多様性を認め合おう

—令和5年度グランドデザイン完成—

R5グランドデザインが完成したので、ご紹介します。

今年は「多様性を認める」をキーワードに掲げています。当校は小規模校ですが、生徒たちは個性に溢れています。互いの違いを理解することで、個性を発揮し、総和として伸びていくことを願っています。

川東地区を走るSLの如く力強く走り、その先には「豊かな心」「確かな学力」「健やかな体」から成る大木を位置づけました。その根幹が「安全安心」「いいところ探し」「重点化」の3本柱です。



なお、先日開催された学校運営協議会で承認をいただきました。保護者の皆様、地域の皆様、今年度の教育活動にご理解ご協力をお願いいたします。

「人権教育総合推進地域事業」の指定を受けました。

文部科学省より「人権教育総合推進地域事業」の指定を受けました。保小中が連携して研修・実践し、児童生徒の人権意識の高揚（主に互いの多様性を認める）を図ります。先日、保小中の職員が一同に会して、進め方について確認しました。

授業や学校行事を保護者のみならず、地域の皆様にも公開したり、成果をたより等で紹介したりします。川東地区を挙げて、人権や多様性について考える機会になれば幸いです。